中央労働講座感想

秋田支部執行委員長 小玉進太

第一講座では、全港湾の歴史について学び、どのように制度を勝ち取るために闘ってきたのかが分かった。特に、「戦争をしかけ全てを失った」という話が心に残った。今後そのようなことが無いよう、全港湾組合員に周知していかなければいけないと思った。

第二講座では、産別協定と事前協議制度について学んだ。産別協定は先輩たちが闘いによって築いた財産なので、それを今後も活かしていかなければならないと感じた。

最大の目的は雇用確保になるので、事前協議は協定通り配置されているか確認し、当該案件で雇用問題が起きないかの点検と確認を行うことが大切だと分かった。

第三講座では、組織強化と役員の幹部としての役割について学んだ。役員の幹部は、組合員を守り、共に闘い、不当な扱いには徹底的に闘っていく必要がある。人として組合員に信頼されるようまずは自ら積極的に学んでいきたいと思った。